しまね 6月定例会 県議会だより

人口減少対策や教育のあり方など活発に議論

総額約4億円の補正予算案や6件の意見書などを可決

島根県議会6月定例会は、6月10日から7月3日までの24日間開催されました。今定例会より議長に就任した中島議長はあいさつで、目下、最大の問題は人口減少であること、また、長引くエネルギー・物価高騰、行き過ぎた円安の進行などが県民の生活や地域経済をより厳しいものにしていることに触れました。そして、本議会での活発な議論を通じ、議会と執行部が両輪となって、県政の発展に努めていく所信を述べました。

6月17日から24日にかけて行われた質問戦では人口減少対策や教育のあり方など様々な県の課題について幅広く論戦が繰り広げられました。最終日には総額約4億円の補正予算案や議員から提案された6件の意見書など、28議案が可決成立しました。

県立大学浜田キャンパスに教職課程を設けられないか

（知事）松江キャンパスからオンライン授業を配信することが可能であり、これを生かして免許取得ができないか、まずはニーズ調査を。

一般質問

島根県立大学について
大屋 俊弘 議員

【問い】教員を目指す県西部の学生の需要を踏まえ、県立大学浜田キャンパスに教職課程を設けることについて、県の考えを伺う。

【答え】浜田キャンパスにおいては、履修者や教員就職者が少ないことなどを理由に、平成31年度から教職課程の募集を停止したところだが、松江キャンパスからオンラインで授業を配信することを生かした免許取得ができないか、まずは県立大学においてニーズ調査をしてもらいたい。

世界遺産石見銀山遺跡登録20周年に向けて
内藤 芳秀 議員

【問い】石見銀山遺跡とその文化的景観の価値について、世界遺産登録20周年を契機として情報発信していく必要があると思うが、どうか。

【答え】島根が誇る貴重な文化財、遺産として次世代へ継承していくことが重要。石見銀山発見500年、世界遺産登録20周年である令和9年に向け、石見銀山の価値や観光情報を効果的に発信できるよう、大田市や関係者の意見を聞きながら検討を進めていく。

指談（ゆびだん）について
白石 恵子 議員

【問い】指談は障がい者が意思を伝える手段のひとつだが、ほとんど知られていない。まずは県民に接する機会の多い行政職員が「指談」を理解することが大切だが、見解を伺う。

【答え】現状を踏まえると県・市町村の福祉に携わる職員が理解を深めることが大切。まず県の健康福祉部の職員を対象に研修会の開催を検討する。市町村職員には福祉担当部局の職員との会議等を活用して理解を深めていく。

訪問介護における新処遇改善加算制度の影響について
原 拓也 議員

【問い】訪問介護の報酬改定により中山間地域の小さな事業所等では減収となるところが多発するものと危惧する。知事はタイムリーにそうした状況を見極めながら、必要あれば県としての施策を打つことも必要と考えるが所見を伺う。

【答え】中山間地域や離島の実情を国に伝え、必要な対応を求めていくとともに、県としても緊張感をもってこの問題に望まなくてはいけないと考える。

教職調整額と時間外勤務手当額について
須山 隆 議員

【問い】国が行おうとしている教職員給与特別措置法改正により教職調整額を月給4％から10％に引き上げた金額と実際に支払う時間外勤務手当額の差を伺う。

【答え】教職調整額の支給率を4％から10％とした場合2・5倍の22億3千万円余となる。4％は時間外勤務時間8時間相当であり、令和4年度の時間外勤務時間を支給率に換算し手当額を計算すると約40億円となり、差額は約18億円となる。

私立中学・高等学校の助成のさらなる充実について
池田 一 議員

【問い】公立学校の教職調整額の引上げについて国で検討しているが、私立中学、高等学校の教職員給与も公立学校同様の財政支援が必要である。私立中学、高等学校に対するさらなる助成の充実について県の考えを伺う。

【答え】私学振興の充実は大変重要だと考えており、教育水準の維持向上等を図るための国の財源措置等の充実強化について、今後も様々な機会を通じて国へ要望していきたい。

中電に原発を動かす資質はない
尾村 利成 議員

【問い】中国電力はこの20年間で7回もの火災を起こしている。経営陣による違反など利潤最優先で法令違反を繰り返す姿勢が会社全体に蔓延している。県が毅然と監視すべき。中電に原発を運転する資質はないと考えるが、どうか。

【答え】中国電力には、引き続き現状を絶えず点検し、発電所の運転に携わる全ての関係者の安全意識の徹底に努めてもらう必要がある。

これまで以上にしっかりと石見銀山遺跡の情報発信を

（知事）令和9年は石見銀山発見500年、世界遺産登録20周年の節目の年になるが、これを契機に効果的な発信ができるよう検討を進めていく。

一問一答

浜田港の振興について
岡本 淳 議員

【問い】近年は船舶の大型化が進み、日本海側の港湾で1000TEU型のコンテナ船が接岸できないのは浜田港のみで、早急な対応が必要と考える。浜田港のハード整備の取組方針を伺う。

【答え】国土交通省に対して船舶の大型化に向けた港湾機能の強化について重点要望を行うとともに、その整備手法も協議を進めているところであり、コンテナ船の大型化の動向を踏まえ、引き続き取り組んでいく。

萩・石見空港の利用促進について
久城 恵治 議員

【問い】今年度は今後の2往復運行を決める勝負の年。萩・石見空港の羽田発着枠政策コンテストの実施及び地元と一体となって利用促進に取り組むことについて県の思いを伺う。

【答え】コンテスト開催を想定し当初予算の増額に加え、江津市に幹事に加わって頂き体制強化された利用拡大促進協議会等地元関係者との連携を一層強化し、コンテストで掲げる目標達成に向け引き続き取り組んでいく。

被爆80周年記念事業との連携について
吉野 和彦 議員

【問い】被爆80周年を迎えるに当たり、被爆体験の継承や平和文化の担い手育成のため広島県や広島市と連携し、原爆展等を県内で開催することについて知事の考えを伺う。

【答え】県は、島根県原爆被害者協議会が実施される慰霊祭等を支援し、原爆被害の悲惨さや平和の尊さを訴えてきた。今後この協議会と相談した上で、広島県、広島市の意向を確認し、どのようなことが可能か考えていきたい。

島根県の空き家対策について
森山 裕介 議員

【問い】各市町村の空き家問題に取り組む窓口を見える化し、市町村を越えた相談・連携体制の強化や県内のネットワークを構築するなど、県として市町村の支援を行っていくべきと考えるがどうか。

【答え】県として支援していくことは重要。圏域ごとに市町村の担当者や不動産業者が参画する会議を開催したり、県のホームページの充実を図るなど、市町村の空き家対策を支援していく。

島根県のスポーツ環境整備の考え方について
岡崎 綾子 議員

【問い】地域の子どもたちのスポーツを支える体制づくりを進めていくことが必要だと思うが、県の取組状況はどうか。

【答え】「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（仮称）」を年度内に策定する方針で、7月には学識経験者やスポーツ文化関係団体で構成する検討委員会を立ち上げる。それぞれの地域で子どもがスポーツを続けられる環境づくりを関係者と一緒に取り組む。

様々な個性等を抱えた方の雇用環境改善
野津 直嗣 議員

【問い】合理的配慮が必要な目に見えない障がいや個性は様々あり、理解を深めてもらうため、多くの企業に研修参加をを促してはどうか。

【答え】現在は障がい者を雇用されていない企業も含め、より多くの企業に研修参加していただけるよう、商工団体の協力も得ながら広く周知を行い、フォーラム等の中でも、できるだけ具体的に例を示すなど、様々な個性に対する理解が進むよう取り組んでいきたい。

カスタマーハラスメントの現状と対策について
岸 道三 議員

【問い】カスタマーハラスメントの実態の受け止め、どのように対処していくのか考えを伺う。

【答え】カスタマーハラスメントは、従業員の心身の健康を害する重大な人権侵害、人権問題である。また、職場の士気を低下させ、組織のパフォーマンスを損なうことにもつながる。現相談体制やマニュアルの見直し、職員向けの研修、島根労働局への必要な協力等を実施していきたいと考える。

ネットワークをつくるなどにより女性の声を政策立案に

（副知事）様々な機会を活用して多くの女性の意見を聞くよう努めていく。また、様々な立場や年齢の皆様の意見を政策立案に生かしていきたい。

一問一答

小さな拠点づくりについて
福井 竜夫 議員

【問い】県内各地の取組や基礎自治体の取組時期の違い、地域の実情等によって地域・地区間の格差は広がっているように感じるが、今後の小さな拠点づくりの方向性について、考えを伺う。

【答え】公民館地区を基本とする住民主体の取組は継続しつつ、行政がより関与しながら、旧市町村単位で生活機能を維持・確保し、周辺の地域もその機能を利用していくことが必要と考える。

真の女性活躍推進
角 智子 議員

【問い】女性たちとのネットワークをつくるなど女性の声を政策立案に生かしてほしいが考えを伺う。

【答え】様々な機会を活用して多くの女性の意見を聞くよう努めていく。女性活躍の推進により、誰もが安心して家庭や仕事に取り組むことができる環境づくりを進めており、女性、男性などの性別にかかわらず、また様々な立場や年齢の皆様の意見を聞き、政策立案に生かしていきたい。

放課後児童クラブのあり方について
河内 大輔 議員

【問い】パートタイム等の短時間労働の方が主体で運営している児童クラブが多いが、県は安全管理の取組をどのように行っているのか、また自己評価や第三者評価制度の導入は進んでいるのか。

【答え】安全対策の研修や、スーパーバイザーが安全管理体制の助言を行う等の取組を実施。自己評価は県内262クラブのうち124クラブで実施しているが、第三者評価は11クラブに留まっている。

自主防災組織の女性リーダーの登用について
田中 明美 議員

【問い】県内各地域の自主防災組織のリーダーで、女性の登用は数人と伺っている。自主防災組織の女性リーダーの登用を積極的に推進して頂きたいが、考えを伺う。

【答え】県で自主防災組織リーダー研修を毎年実施しており、女性にも多く参加頂けるよう、市町村に働きかけている。女性有識者を招き、女性の視点を踏まえた講習等も実施しており、引き続き女性リーダー登用に向けた取組を行う。

訪問介護の基本報酬引下げについて
大国 陽介 議員

【問い】訪問介護の報酬が引下げられ不安と怒りの声が上がっている。中山間地域が大部分を占める本県では、サービス維持が困難となり高齢者が生活していけるかの瀬戸際に立たされる。踏み込んだ対応が必要と考えるが所見を伺う。

【答え】運営が厳しくなることが懸念され、利用者や家族にとっても深刻な問題。関係者のご意見や事業所の状況を把握し、報酬の再改定を含め国に求めていく。

内航海運業への支援について
吉田 雅紀 議員

【問い】隠岐の物流の柱である内航海運業は燃料費、人件費、設備費の高騰に苦しんでいる。隠岐の内航海運業への支援を検討していただきたいがどうか。

【答え】内航海運業の航路維持、確保に向けた支援策を講じることについて、全国知事会を通じて国に要望している。引き続き、生活や産業に必要な物資の輸送が滞り、島民生活に支障が生じることがないように、国に対して支援を求めていく。

水道について
中村 絢 議員

【問い】飯梨川水道の耐震適合率目標（令和9年度末までに51％）の達成状況と今後の予定を伺う。

【答え】本水道は、供用開始から43年が経過し老朽化が著しいが、計画策定時から進捗はなく35％のままである。松江市及び安来市との間で耐震化について共通認識が得られたため、部分更新とは別に新たなルートによる全線布設替えの具体的な検討を始めた。今後、速やかな合意形成に努め、早期の工事着手を目指す。

就職氷河期世代対策の重要性について
岩田 浩岳 議員

【問い】今なお不安定な就労環境にある就職氷河期世代への対策が重要と考えるが知事の所見を伺う。

【答え】就職氷河期世代は、希望する就職が叶わず不安定な仕事に就いている方も多いと想像される。本人の希望に寄り添うことが大切で、きめ細やかな相談、教育訓練、就職定着までの切れ目のない支援を通じて活躍の機会、様々な選択の可能性を高められるよう、継続的な支援が重要である。

石州瓦産業に対する支援について
坪内 涼一 議員

【問い】石州瓦産地を守り続けるには、県の支援が欠かせない。今回の経営統合に対する支援について考えを伺う。

【答え】このたびの経営統合は、石州瓦産業の維持、拡大のために取り組まれると伺っている。関連産業を含めた石州瓦産業全体の発展や雇用を最大限に維持していただくために、経営統合の動きに注視し、関連事業者等からよく意見を伺った上で、段階に応じた支援が必要と考えている。

不登校について
成相 安信 議員

【問い】県教育委員会が今回実施した調査と国が毎年度実施している調査の結果の違いについて伺う。

【答え】今回、県が実施した調査は生徒を対象としたものであるのに対し、国が実施している調査は学校を対象としたもの。その結果による不登校の要因として、国の調査では無気力・不安が多い傾向だったのに対し、県の調査ではいじめや友人関係等、人間関係に起因するものが多い傾向だった。

議員から提案された6件の意見書を可決しました

- ○地方財政の充実・強化を求める意見書
- ○参議院議員選挙における合区の公職選挙法改正による解消を求める意見書
- ○学校給食費無償化のための恒久的な財源措置を求める意見書
- ○半島振興法の延長及び充実に関する意見書
- ○訪問介護事業の基本報酬引き下げを撤回し、移動時間（あるいは距離）に応じた引き上げを行うとともに、国庫負担割合の引き上げを財源とした介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書
- ○全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求める意見書

※意見書の全文は、島根県議会ホームページで見ることができます。
（https://www.pref.shimane.lg.jp/gikai/）

6月定例会で可決等された議案

知事提出議案（21件）
- ◇令和6年度島根県一般会計補正予算案など予算案（3件）
- ◇条例案（9件）
  - ▽特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例
  - ▽その他8件
- ◇一般事件案（9件）
  - ▽訴えの提起について
  - ▽その他8件

議員提出議案（7件）
- ◇条例案（1件）
  - ▽議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例
- ◇意見書（6件）
  - ▽地方財政の充実・強化を求める意見書
  - ▽その他5件

令和6年度補正予算の概要

- ・エネルギー価格・物価高騰対策の期間延長
- ・子ども医療費補助金制度の創設
- ・住宅の耐震リフォームへの支援
- ・介護サービス継続への支援
- ・介護職員等処遇改善加算の取得への支援
- ・特別職報酬等
- ・石州瓦産業の事業再編支援
- ・出雲縁結び空港連絡バスのキャッシュレス化支援　等

総額約4億円が計上され、6月補正後の一般会計予算額は4,621億円となります。

議長・副議長が選出されました

議長
中島 謙二（68歳）
益田選挙区5期

副議長
生越 俊一（67歳）
大田選挙区4期

6月定例会で議長に中島謙二議員が、副議長に生越俊一議員が選任されました。中島議長は就任のあいさつで「島根創生を進展させ、県勢の発展と県民福祉の向上に寄与できるよう、誠心誠意努めていく」と決意を述べました。